

後期基本計画 令和元年度 基本施策方針評価書

政 策 : 06 次代を担う人材の育成と、持続可能な行財政経営を進める部門

基本施策 : 07 市民に信頼される会計事務の実現

| | |
|----------|------------|
| 主管課長職・氏名 | 会計課長 勝田 裕征 |
| 関係課長職・氏名 | |

1. 基本施策の令和元年度までの実現状況を明らかにする

(1) 基本施策が4年間でめざす姿

市民の皆様からお預かりしている公金の管理及び運用は、市民の信頼に直結するものです。公金管理に対する認識を全職員で共有し、会計事務の知識を高めることで、適正かつ迅速な予算執行をめざします。また、公金の安全で効率的な資金運用に努めます。

(2) 基本施策目標値の達成状況

| No | この基本施策に関わる基本施策目標指標 | 基準値 | 上：戦略目標見込値／下：達成値 | | | | 目標値 | 進捗状況 |
|----|------------------------------|--------|-----------------|-------|-------|-------|-------|--------|
| | | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和4年度 | 進捗率(%) |
| 1 | 暮らし 伝票返却率 単位 % | 8.9 | 8.25 | 8 | 7.75 | 7.5 | 7.5 | D |
| | | | 9.46 | - | - | - | - | △40.0 |
| 2 | 幸福 滝沢市で幸せに暮らしている人の割合 単位 % | 58.8 | 63 | 67 | 71 | 75 | 75 | C |
| | | | 65.4 | - | - | - | - | 40.7 |
| | 単位 | | | | | | | |

(3) 基本施策を構成する施策及び目標値の達成状況

| No | 施策名 施策目標指標 | 基準値 | 上：戦略目標見込値／下：達成値 | | | | 目標値 | 進捗状況 |
|----|--|--------|-----------------|-------|-------|-------|-------|--------|
| | | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和4年度 | 進捗率(%) |
| 1 | 暮らし 06070100 適切な会計処理と確実な資金の運用 伝票返却率 単位 % | 8.9 | 8.25 | 8 | 7.75 | 7.5 | 7.5 | D |
| | | | 9.46 | - | - | - | - | △40.0 |
| | 単位 | | | | | | | |
| | 単位 | | | | | | | |
| | 単位 | | | | | | | |
| | 単位 | | | | | | | |

後期基本計画 令和元年度 基本施策方針評価書

政 策：06 次代を担う人材の育成と、持続可能な行財政経営を進める部門

基本施策：07 市民に信頼される会計事務の実現

| | |
|----------|------------|
| 主管課長職・氏名 | 会計課長 勝田 裕征 |
| 関係課長職・氏名 | |

2. 基本施策の実現に向けての令和元年度までの取り組み状況を分析する

(1) 基本施策目標の達成（実現）に向けた計画期間内の取り組みと方針についての達成（実現）状況

| | |
|---|--------|
| B | 概ね達成した |
| <ul style="list-style-type: none">収支の均衡を的確に捉え、効果的な公金の管理及び運用に努めました。法令や財務規則等に基づき、適正な審査と迅速な支払を行いました。公金管理に対する認識と会計事務の知識を全庁で高めるため、研修会や日常的な事務指導を実施しました。 | |

(2) 基本施策内の取り組みと方針のうち、令和元年度の重点課題の達成（実現）状況

| | |
|--|--------|
| B | 概ね達成した |
| 【重点課題】 適正な会計事務の維持 【重点課題に対応する達成状況】 伝票返却事由の分析を基に、対応策を検討したうえで、研修会や日常的な事務指導を実施しました。 | |

3. 基本施策の実現に向けての令和元年度実施後での変化を認識する

(1) 基本施策の実現に影響する社会環境変化

| | |
|--|----------|
| B | 社会環境変化あり |
| 【外部環境】 <ul style="list-style-type: none">長期にわたるマイナス金利政策により低金利となり、以前と比べ資金運用が難しくなっています。収納、支払における電子マネーの利用等の動きがあり、今後法改正等を注視する必要があります。 | |

(2) 政策との関連性から基本施策の見直し

| | |
|--|------|
| A | 必要なし |
| 政策目標を実現するため、同一内容の基本施策の継続が必須のため、見直しの必要はありません。 | |

4. 基本施策の実現に向けての今後の取り組みと方向性を明らかにする

(1) 令和 3年度方針策定に際し、今後の方向性や引継課題

| | |
|---|------|
| B | 課題あり |
| 【今後の方向性】 引き続き適正な会計事務の実現に向けて、全庁的に会計事務の知識の周知と意識の高揚を図ります。 【引継課題】 効率的な資金管理を行うとともに、公金、基金の運用方法の研究を進めること。 | |

